

2025 年 11 月 27 日

報道関係者各位

コーユーレンティア株式会社

リユースパネルによる太陽光発電蓄電システムと独立ソーラー電源の稼働開始

～自社倉庫での再生可能エネルギーに活用し、地域の BCP にも貢献～

コーユーレンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：梅木孝治、東証スタンダード：7081）は、グループの連結子会社であるコーユーロジックス株式会社（以下「コーユーロジックス」）中部エリアセンター（愛知県愛西市）に、リユースパネルを活用した「自家消費型太陽光発電蓄電システム」と「独立ソーラー電源：そらジェネ」を設置し、2025 年 10 月 31 日より稼働を開始しました。



中部エリアセンター（全景）



独立ソーラー電源
「そらジェネ」

【背景】

当グループでは従来、ESG 経営を通じた地球環境や社会課題への対応が持続可能な社会に貢献すると捉えています。2020 年には脱炭素に貢献するため、「再エネ 100 宣言 RE Action」に参加し、2030 年までに事業活動における使用電力を 100%再生可能エネルギーにすることを宣言しました。これに伴い、2020 年 7 月より、当グループの全国 20 拠点のうち 5 拠点で「再エネ電力メニュー」を通して電力調達を行っています。さらに、物流倉庫の屋根へ太陽光リユースパネル設置を進め、2022 年にはコーユーロジックス関東エリアセンター（千葉県白井市）、2023 年には九州エリアセンター（福岡県太宰府市）の設置が完了し、グループ全体の再エネ率は 50%に達しています。

【目的・効果】

今回、再生可能エネルギーの活用推進と、災害発生時の電源供給施設としての BCP 対策を目的として、リユースパネルによる太陽光発電蓄電システムを設置しました。これにより、電力料金のコスト削減が期待できるとともに、資源の有効活用につながりました。

特に、屋根に設置した太陽光発電蓄電システムに加えて、BCP 対策を一層強化するために、当社オリジナルの移動式独立ソーラー電源を設置しています。これは、天候不良時の確実な電源確保につながるとともに、災害時にはポータブル電源としても活用できます。

なお、今回の太陽光発電蓄電システムと独立ソーラー電源の設置により、グループ全体の自家発電率は10%を超えました。

【概要】

1. 施設名：中部エリアセンター
2. 住 所：愛知県愛西市西條町大池 58-3
3. システム名：60kWクラス自家消費太陽光発電+3kW 独立ソーラー電源
4. 仕 様：



- ①太陽光パネル（自家消費用）及び蓄電システム
- ・186W パネル×54 枚、250W パネル×200 枚
 - ・総発電出力 60.04kW
- ②独立ソーラー電源（「そらジェネ」シリーズ）
- ・250W パネル×12 枚
 - ・総発電出力 3kW



* 参考（以下、当社 WEB サイト）

<https://solar.koyou.co.jp/%e3%81%9d%e3%82%89%e3%82%b8%e3%82%a7%e3%83%8d%e>

- ③PR 用反射型屋外液晶モニター（倉庫南壁面に設置）＊発電状況をリアルタイムで発信

【今後の取り組み】EMS 事業参入と自社倉庫での運用

グループの連結子会社で ICT 事業を担うイノテックスエンジニアリング株式会社は、2025 年下期より EMS※（エネルギーマネジメントシステム）分野に参入、まずはグループの「中部エリアセンター」、「九州エリアセンター」に EMS を導入します。さらに社内実践をもとに、物流倉庫や工場内での計測機器の設置工事から、省エネ、CO₂削減ソリューションを提案するコンサルティングまでを、ワンストップで提供してまいります。当社グループは一丸となり、省電力化とエネルギーの効率運用に取り組み、2030 年までの再生可能エネルギー100%達成を目指してまいります。

※施設内で使用するガス、水道、電気などのエネルギー量をモニタリングし運用効率を高めるシステム

以上

【本リリースに関するお問い合わせ】

コーユーレンティア株式会社 IR 広報室 TEL:03-6478-9724 koho@koyou.co.jp